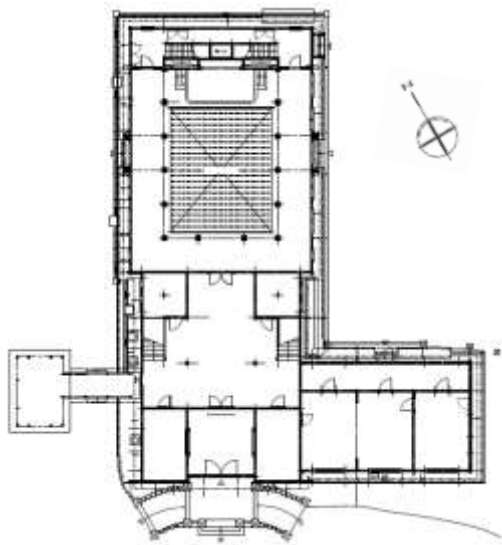
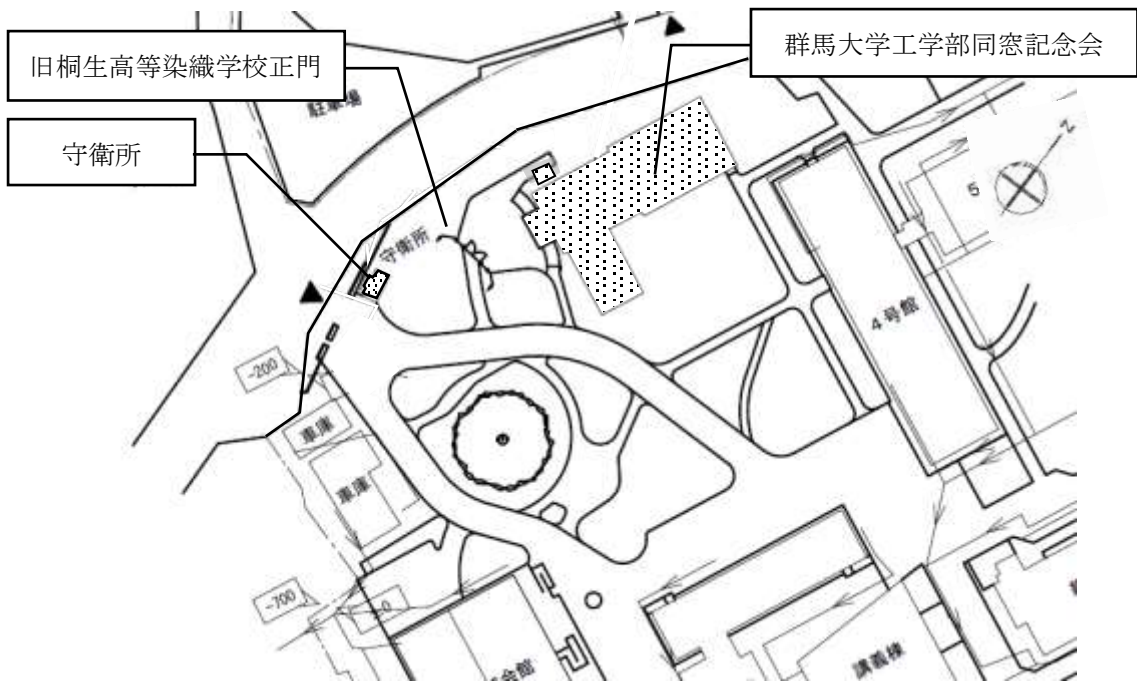


指定番号 2 群馬大学工学部 同窓記念会館・守衛所, 旧桐生高等染織学校正門

所在地	天神町一丁目 5-1
建築年代	群馬大学工学部同窓記念会館：大正 5 年（1916） 群馬大学工学部守衛所：同上 旧桐生高等染織学校正門：同上
建築概要	群馬大学工学部同窓記念会館：木造 2 階建、瓦葺、便所棟附属 群馬大学工学部守衛所：木造平屋建、瓦葺 旧桐生高等染織学校正門：煉瓦造、鉄製門扉附属
特徴等	高等教育機関として大正 5 年に染織科と紡織科を備えた桐生高等染織学校が開校。創立時に建てられた本館玄関の一部と講堂が、この同窓記念会館として残る。設計は文部省建設課長ほか技師 2 名。講堂内部はハンマービームと呼ばれる独特な屋根構造をもち、西欧・中世の教会堂に用いられた様式を取り入れ厳粛でありながら華やいだ空間を創りだしている。守衛所は同じく桐生高等染織学校創立時の門衛所で、本館と同じ下見板張りなど共通の意匠が見られる。現在も守衛所として使用されている。旧桐生高等染織学校正門は、本館の移設時に現在の位置に移設。煉瓦造の門柱上部四面にはゴシック風のポーチが設けられ、頂部に門灯を掲げている。桐生織物の近代化と発展に貢献した近代化遺産として貴重な建物である。
備考	登録有形文化財（平成 10 年 12 月 11 日）、平成 27～29 年改修



配置図



群馬大学工学部同窓記念会館 1階平面図



写真 群馬大学工学部同窓記念会館



写真 群馬大学工学部守衛所



写真 旧桐生高等染織学校正門